

東広島市・広島大学教育ビジョン研究センター連携 「広域交流型オンライン社会科地域学習」2022年7月実施要項

1. 目的

広島大学教育ビジョン研究センターが開発した「のん太の学び場」（東広島市地域学習用デジタルコンテンツ）と東広島市教育委員会作成の小学校社会科副読本を効果的に連携させた広域交流型オンライン社会科地域学習の実施を通して、児童の主體的、対話的で深い学びを創造する。

2. 実施内容

- 市内の小学校、学習対象となる地域・施設と広島大学がオンラインでつながって、遠隔授業を行う。
- 遠隔授業の全体進行は、大学の担当者（T1）が行う。各教室での指導は、各学級の担任等（T2）が行う。
- 可能な範囲で、参加校には大学より技術的なサポート要員（T3）を派遣し、授業準備、授業運営支援、ICTの活用支援等を行う。
- 遠隔授業では、児童が自分のタブレットから参加できる機会を設ける。

3. 授業の日時および参加予定校

- 2022年7月13日（水）3時間目：10：25～11：10，4時間目：11：15～12：00
- 東広島市内小学校校の5年生（7校12学級290名）
寺西小（3学級102名）、原小（1学級19名）、吉川小（1学級8名）、高美が丘小（3学級83名）、下黒瀬小（2学級53名）、豊栄小（1学級15名）、木谷小（1学級10名）

4. 単元名および目標

- 単元名 「社会科教科書にのせたい東広島市の農家とは！！」
- オンライン地域学習の単元目標
 - 【知識・技能】 農家のお話を聞いて、米づくりの工夫や悩みを書き出すことができる。
 - 【思考・判断・表現】 2つの農家を比較し、①たくさんの農家と一緒に、大規模に販売目的の米づくりをしている農家と、②代々受け継いできた田んぼを、家族ぐるみで小規模に自給目的で米づくりをしている農家、に分類できることを説明できる。また統計資料と教科書を読んで、日本全体で見ると①②の両方のタイプの農家がみられるが、教科書では①のタイプの農家を取り上げられていることを判断できる。
 - 【学びに向かう姿勢】 東広島市の農家を事例に、日本の米づくりの特色や課題をよくよく伝える教科書を提案しようとしている。
 - 【ICT】 タブレットを操作して自分の判断を発信できる。オンライン学習に参加し、自分の考えを教室のなかで、また他校に向けて発表できる。

- ・ 赤色：タブレットの活用場面
- ・ 黄色：各学級メインの活動場面
- ・ 青色：中継場面
- ・ 教室の基本操作：手を挙げる，ジャムボードやスプレッドシートに入力する，発表時のミュート解除

○ 本時の目標

- ・ 1/2時：農家のお話を聞いて，米づくりの工夫や悩みを書き出すことができる（知識・技能）。
- ・ 2/2時：2つの農家のお話を踏まえて，日本の農業の特色や課題をよりよく伝える教科書のあり方を提案できる（思考・判断・表現）。

5. 授業展開

T1(草原)の動き	予想される児童の反応	T2(学級担任)の動き	ホスト(広大)と中継先の動き
<p><導入:教科書の中の米づくり></p> <p>Q1. 教科書に登場した新潟県・南魚沼市の三輪さんはどんな米づくりをしていたかな。(10)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 水の得方 ② 水田の広さと形 ③ 機械や肥料の使い方 ④ 働いている人の数・時間 ⑤ 品種，収穫した米のゆくえ ⑥ ねがいや苦労 <p>Q2. のん太アンケート1 (5)</p> <p>三輪さんのような農家は，東広島市にもたくさんいる はい，いいえ，わからない</p> <p>Q3. 本時の学習課題を共有する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山から流れてくる豊かな魚野川の水を使う ・ 200枚 20ha。耕地整理で区画が広がった。周りの農家からも頼まれて作っている ・ トラクターや田植え機など高い機械を買っている。できるだけ化学肥料を使わず，玄米黒酢やカルガモを使っている ・ 多分，三輪さんとお父さんの家族で働いている（写真あり） ・ コシヒカリ。全国に販売している ・ もっとお米をたくさん食べてほしい，農業で働く人が増えてほしい ・ 三輪さんのような（大きな）農家，見たことあるよ。 ・ 見たことないなあ・・・。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開始までに児童端末にアンケート画面を表示させる。教師端末の接続確認（音声・映像）を行う ・ あらかじめ答えを整理しておく ・ 各学校・各学級を順番に指名していくので，答えられるように準備しておく ・ T1から指名されたら，代表児童に発表させる ・ タブレット操作を支援する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1と参加校の事前対話（挨拶，接続確認，動機付け）を支援する ・ OP動画の再生（開始12分前） ・ T1から指名されたクラスを順次スポットライト ・ 30秒のカウントダウン（声は出さない）
<p>【めあて】：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東広島市には，教科書に出てくる三輪さんのような米づくり農家はいるだろうか？ 			

<展開 1: 2つの農家を見学しよう>

Q4. 課題を解決するために、今から東広島市の農家をオンラインで見学するよ。(14+2+14)

① 河内町の小田ファーム(A農家)

- ・南魚沼市の農家を調べたときと同じ視点で観察していこう

・質問しよう

・のん太アンケート2

A農家さんは、三輪さんと…似てる、やや似てる、似てない

- ② みんなの家の周りには A 農家さんみたいな農家はいるかな。資料3をみるとどうだろう？

③ 豊栄町の渡辺さん (B農家)

- ・南魚沼市の農家を調べたときと同じ視点で観察していこう

・質問しよう (ご本人はこの時間に仕事のため受付のみ、回答は11:30以降に)

・のん太アンケート3

B農家さんは、三輪さんと…似てる、やや似てる、似てない

- ①集落を取りまく6つのため池から水を引く。生活水がまぎらない清流
 - ②900枚102ha。地区の田んぼ(約8割)をあずかって米づくり(組合)。
 - ③コンバイン4台、トラクター5台、無人草刈り機など。特別なコンバインではセンサーで米の味を確認できる。特別栽培米では農薬や化学肥料を半以下に
 - ④約30人が6つの部で働く。原則月～土の8時～17時。パートさんをやとう
 - ⑤ヒノヒカリ。地元業者だけでなく全国にネット販売。大豆やアスパラガスも
 - ⑥たくさんのお米を食べてほしい。イノシシやシカとの戦い。災害も心配
- ・三輪さんと「やや似てる」。しかしA農家はもっともっと大きい

・大きな農家ばかりではないよなあ。都府県(2.2ha)や広島県(1.3ha)の平均から見ても大きすぎる～。

- ①遠くのため池から水を引く、水がないときにそなえて自宅に池がある
 - ②3枚0.5ha。家族代々の田んぼを「米は自給」というお爺さんの言いつけで守る
 - ③田植え機1台とコンバイン1台を共用。コンバインが壊れたので収穫は業者へ依頼。農薬・肥料の散布も業者へお任せ
 - ④兄弟2名と母親で働く。仕事が休みの時に農作業、2-3週に1回草取り
 - ⑤コシヒカリ。家族と親戚で食べて余った分は売る(40万円)。全体で10万円の損
 - ⑥仕事と農作業の両立が大変。機械にお金がかかる、農業は未来に不安
- ・三輪さんとは「似てない」。B農家は小さいし、他の仕事をしている

- ・地図で農家の位置を確認させる
- ・資料1を黒板に貼る
- ・映像視聴中は映像に集中させる。教員は特に板書しない。児童にはメモ程度の内容をワークシートに記載させる

・質問がないか、尋ねる

・質問があるときは、挙手ボタンを押す→T1の指名を受けたら質問

・タブレット操作を支援する

・資料3を黒板に貼る

・T1の指名を受けたら発表

- ・地図で農家の位置を確認させる
- ・資料2を黒板に貼る
- ・映像視聴中は映像に集中させる。教員は特に板書しない。児童にはメモ程度の内容をワークシートに記載させる

・質問がないか、尋ねる

・質問があるときは、挙手ボタンを押す→T1の指名を受けたら質問

・タブレット操作を支援する

・事前収録動画の再生 (8)

・T1から指名されたクラスをスポットライト→現地との2画面表示へ

・T1から指名されたクラスをスポットライト

・事前収録動画の再生 (8)

・T1から指名されたクラスをスポットライト

<展開2: 2つの農家を比べてみよう>

Q5. 東広島市の2つの農家の違いをまとめよう。(20)

- ① ワークシートを整理しよう
- ② それぞれの農家の特色を一言であらわそう
- ③ 三輪さんや A 農家さんみたいな農家を「販売農家」といいます。逆に、B 農家さんみたいな農家を「自給的農家」といいます

Q6. 日本全体でみると、「三輪さん」「A 農家さん」「B 農家さん」、どのタイプが多いだろうか？(10)

- ① のん太アンケート4
予想しよう。どのタイプが多い？
- ② 資料を見てください。分かったことを言おう
- ③ 何か疑問はないかな？
→木村先生、教えてください

- ・オンライン見学した2つの農家には違いが目立つね
- ・三輪さんは、「カルガモとつくったお米を全国に販売」ではどうかな
- ・A農家さんは、「安心安全なお米や野菜を全国に販売」ではどうかな
- ・B農家さんは、「家族で食べるお米を家族でつくる」はどうだろう

- ・教科書の三輪さんタイプかなあ
- ・全国でみると、農家の平均的な土地面積は2.2haだよ。販売農家の割合はだんだん減っているよ
- ・日本全体でみると、土地の広さではB農家さんタイプが多いね。米の行方ではA農家さんタイプが多いが、だんだんと減っているね
- ・教科書は、なぜ三輪さん(だけ)を取り上げているのだろう
→教科書は日本の未来を担う販売農家をクローズアップしているよ

- ・板書しながら、ポイントをワークシートに書かせる
- ・ワークシートを眺めながら各農家を比較し、特色を言葉にさせる
- ・特色を発表できるときは、挙手ボタンを押す→T1の指名をうけたら発表

- ・板書+ワークシートで、3つのタイプの違いを強調したい

- ・タブレット操作を支援する
- ・資料3を黒板に貼る
- ・T1が代表クラス(下黒瀬)で進行していく。それを見ながら・聞きながら、各クラスで資料の読み方を一緒に確認したい

- ・疑問があるときは、挙手ボタンを押す→T1の指名を受けたら質問

- ・T1から指名されたクラスをスポットライト

- ・残り30秒のカウントダウン(声は出さない)

- ・T1から指名されたクラスをスポットライト
- ・ゲストをスポットライト

<展開3: 教科書にのせたい農家>

Q7. 教科書には、南魚沼市の三輪さんだけでなく、東広島市の農家も
のせたくない? (10)

- ① みんなの気持ちを教えて
- ② ジャー、どちらの農家がいい?

のん太アンケート5

A 農家さん, B 農家さん

- ③ なぜそうしたいの? 理由が
言える人がいるかな
 - ・ A 農家さんを推すひと?
 - ・ B 農家さんを推すひと?
 - ・ 両方の農家を推すひと?

<終結:まとめ>

Q8. 社会科教科書を書いている木村
博一教授のお話を聞こう。みんな
の提案をどう思いますか? (5)
→今日のめあては達成できたかな。
確認しよう。

・ 賛成! 教科書だけじゃ不十分だよ

- ・ うーん、悩むなあ。。
- ・ どちらものせたいなあー

<A 農家をのせたい>

- ・ 教科書では、三輪さんよりも大きな
農家を紹介すべきだから
- ・ 日本の未来のモデルは A 農家だ。
こうやって儲けるべきだ

<B 農家をのせたい>

- ・ 教科書では、平均的な大きさで今後
増えそうな B 農家を紹介すべきだ
- ・ 日本の農業の代表選手は B 農家だ。
こちらのお悩みを考えるべきだ

<両方のせたい>

- ・ 東広島市のように(平野・川の水で
はなく)山の中でため池の水で米
を作っている農家も紹介すべきだ

・ 東広島市の農家がのるといいなあ

【まとめ】:

- ・ 東広島市には、教科書に出てくる三輪さんのような農家だけでなく、いろいろなタイプの農家がいる。
販売用の米づくりを仕事にする大きな農家もいれば、家族用の米づくりを他の仕事をしながら行う小さな農家もいる。

・ 東広島市の農家の工夫や悩みを取
り上げてもらって、教科書をもっ
とよくしようと煽りたい

・ タブレット操作を支援する

・ 理由を言える児童がいる場合は、
挙手ボタンを押す(理由をしっか
り発表できそうな児童に率先して
手を挙げさせたい) → 指名され
たら発表する

・ それぞれの理由について、1-2名
ぐらいずつ代表的な見方を紹介し
たい(時間の都合で、深入りはで
きない)

・ 残り 30 秒のカウントダウン
(声は出さない)

・ T1 から指名されたクラスをスポッ
トライト

・ ゲストをスポットライト

6. 配布資料

- ・資料1（左）： 河内町のファームおだの農地のようす（A2×1枚）
- ・資料2（右）： 豊栄町の渡辺さんの農地のようす（A2×1枚）
- ・資料3： 農家の平均農地面積，販売・自給農家の比率（A2×1枚）
- ・ワークシート

